



スマトラ沖地震津波発生から10年の節目を迎え、インドネシアと日本において文化と防災を軸とした両国の交流を進めるうえで、防災意識の向上および定着を図ることが強く求められている。立教大学アジア地域研究所は国際交流基金「アジア・市民交流」助成事業を得て、インドネシアの災害文化を紹介しつつ、日本の文化である紙芝居を媒体とした防災交流・教育プログラムを検証する防災セミナーに取り組み、2014年12月～2015年1月にインドネシアおよび日本各地で防災セミナーを実施している。

今回、本学において、同事業にたずさわっている高藤洋子特任研究員がインドネシアにおける事業の報告を行い、コメントターの発言をまじえ、地域コミュニティにおける文化的手法を用いた防災意識の向上及び波及の実状を検証し、課題を明らかにする。さらに出席者の発言も交え、コミュニティ防災推進について活発な議論の場としたい。

# スマトラ沖地震津波より10年を経て —防災文化セミナーから見えてきたこと—



**2015年2月21日（土）14:00～17:00（開場13:30）**  
**立教大学 池袋キャンパス 1203 教室（本館2F）**

報告：高藤 洋子（アジア地域研究所 特任研究員）

コメントター：五十嵐 暁郎（本学名誉教授）

Bambang Rudyanto（バンバン ルディアント）（和光大学経済経営学部教授）

入場無料  
申込不要

EMBASSY OF JAPAN  
INDONESIA

CONSULATE GENERAL OF JAPAN  
MEDAN

ASIA  
center  
JAPAN FOUNDATION

主催／立教大学アジア地域研究所 後援／在インドネシア日本国大使館、在メダン日本国総領事館  
本講演会は、国際交流基金アジアセンターの「アジア・市民交流」助成事業です。

お問合せ：立教大学アジア地域研究所 TEL/FAX: 03-3985-2581（月・火・木） E-mail : ajiken@rikkyo.ac.jp